



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp



富岡町公民館訪問・社会教育研修会（9/17）

富岡町公民館訪問・社会教育研修会の概要

日 時 令和7年9月17日（水）10:00～12:00
場 所 富岡町文化交流センター学びの森 第一会議室
富岡町立富岡小学校・中学校 地域学校協働活動「地域交流タイム」視察
参加者 富岡町（社会教育委員含む）…7名 他市町村…2名 相双教育事務所…3名 計12名



公民館訪問・社会教育研修会（10:00～12:00）

【富岡町からの報告・計画から】

- 1 社会教育関係事業説明（令和6年度事業実績・令和7年度事業計画について）
生涯学習・スポーツ事業の推進と文化芸術の振興に努め、富岡町文化交流センター・総合スポーツセンター・とみおかアーカイブ・ミュージアムを核とした交流・関係人口の拡大を目指しています。また、歴史や文化の保護・活用とふるさと富岡とのつながりの継続・確保、人権の尊重・男女共同参画・多文化の推進を重点施策として行っています。



生涯学習係：主な取り組み		
二十歳を祝う会事業		男女共同参画事業
生涯学習事業	・陶芸教室	国際交流事業
	・古典講読教室	富岡文化交流センター事業
	・健康太鼓教室	文化芸術振興事業
	・とみサタ！	富岡町図書館事業
	・いまを知るツアー	イベント開催事業
地域学校協働事業	・サマースクール	各種町民大会等開催
	・地域交流カフェ	
社会教育一般事務		スポーツ推進委員会事業

2 富岡町地域学校協働活動について

「コミュニティの拠点となる学校（富岡小学校・中学校）」を目指して、地域と学校が連携・協働して、子どもたちの成長を支えていく活動を積極的に推進しています。また、教育支援活動の充実のための組織化・ネットワーク化を図りながら、連携・協働を行っています。

評価・検証委員会（年2回実施）、推進委員会（7月・12月）、富岡町教職員研修会で推進員の紹介と顔合わせを実施しています。

令和7年度地域協働活動の目標

- (1) 依頼書に基づく授業支援者の派遣、小中学校の校外学習や総合的な学習時間の授業支援の方法を明確化・共通認識し、教職員の負担軽減の一助となる。
- (2) 地域交流タイムへの参加人数の推移、参加者アンケートを実施し評価
- (3) 地域連携だよりの発行年2回に加え、周知をどの程度行ったか。

富岡町社会教育委員の方からの御説明もあって、積極的に取り組んでいる様子が分かりました。「子どもや先生方」の力となればと思って進めており、子どもたちの学びの場や居場所づくりに、貢献されています。



3 研究協議「地域学校協働活動と公民館事業の連携について」

～子どもたちのいま・未来を地域全体で考える～

富岡町の令和6年度の地域学校協働活動の取組事例から「今後の方向性」を見ますと、

5年度「今後の方向性」

- 地域と学校の対話の時間確保
- 地域の側からの提案
- 訪れやすい学校環境の整備



6年度「今後の方向性」

- 地域交流カフェの継続
- 保護者が参加しやすい開催日の工夫
- 訪れやすい学校の環境整備



「①地域交流カフェの継続 ②保護者が参加しやすい開催日の工夫 ③訪れやすい学校の環境整備」の3つが挙げられており、地域住民の広がり・深まりを更に強めようと努力しています。また、学校を支援する活動が伺えます。発信している富岡町の地域学校協働活動の様子を、Facebook、X で見ることもできます。その取組内容は大変素晴らしいです。町民が交流の時間を楽しむ場所、富岡小中学校の教室に設定されて、空き教室を有効に活用していることがわかりました。「地域交流タイム」、学校と地域が互いにパートナーとして、連携・協働を行っている活動を見させていただきました。

先生方からの理解も深まり、地域学校協働活動（地域の方々の協力）によって、学校の教育活動も、より充実してきたそうです。



「地域交流カフェの様子」



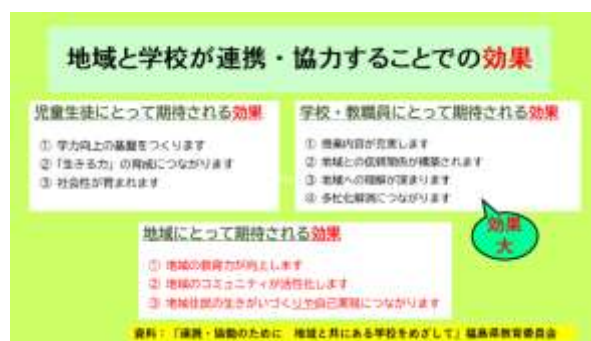
「紙芝居：読み聞かせ」



児童・生徒にとっても、学校・教職員にとっても、地域の方々との交流（の場の設定）は、『連携・協働のために 地域と共にある学校をめざして』（福島県教育委員会）の中でも効果大と述べられています。

地域にとって期待されるその効果は、**効果大**

- ① 地域の教育力の向上。
- ② 地域コミュニティの活性化
- ③ 地域住民の生きがいづくりや自己実現とされています。



4. 全体を通して【富岡町担当者からの報告】

- 説明事項が多かったため、事前に資料を共有することができれば、時間を効率的に使えた。
- 参加者が意見を出しやすいようにワークショップなどを挟みながら進行できれば良かったと考える。

「公民館訪問」

- 時間の関係上、研究協議が「講義形式」になってしまい、意見出しが少なかったように感じた。
- ◎ テーマ設定は、市町村担当者と県の担当者と相談しながら進め・共有できたので大変良かった。

「社会教育研修」

- テーマを設定し、各市町村の担当者にも積極的に参加してもらおう工夫が必要であったと思う。当日は、2名の参加であった。

【今回掲載した写真は全て相双教育事務所のデジタルカメラで撮影したものです】